



大学図書館研究会京都地域グループ 第44回京都地域グループ総会のご案内

大図研京都地域グループ会員の皆様へ

地域グループ総会を下記の要領で開催します。皆様の積極的なご参加をお待ち
申し上げます。

記

日 時：2021年8月24日（火）
総 会：19:30～20:30
会 場：オンライン開催（Zoom）

※ 20:30～ 情報交換会（Zoom）を開催いたします。

参加をご希望の方は、Zoom のミーティング ID と PW をお伝えしますので、
下記アドレスまで、ご連絡ください。

kyoto@daitoken.com

[目 次]

| | | |
|------------------------------------|---|---|
| 大学図書館研究会京都地域グループ第44回京都地域グループ総会のご案内 | … | 1 |
| 大学図書館研究会京都地域グループ第44回京都地域グループ総会議案 | … | 2 |
| 会費ご納入のお願い | … | 6 |

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：kyoto@daitoken.com （大学図書館研究会京都地域グループ）

URL：http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm

【第1号議案】

大学図書館研究会京都地域グループ
第44回京都地域グループ総会議案

2020/2021年度(2020.7～2021.6)活動総括及び2021/2022年度(2021.7～2022.6)活動方針

1.2020/2021年度総括

(1) 研究交流活動

以下の3件の企画を実施しました。

名称：大図研京都ワンディセミナー「Go to レファレンス～ウィズコロナ時代におけるレファレンスの在り方を再定義してみませんか～」

日時：2020年11月14日(土) 13:00-16:00

会場：ZOOM

講師：矢崎美香氏(九州女子大学 准教授)

内容：リモート環境下でのレファレンス～レファレンス・インタビューのコツ
レファレンスの体系的な構築に向けて～レファレンス・カルテの導入

参加者数：30名

名称：大図研関西3地域グループ合同例会「Alma導入の苦労話を聞こう」～体験者が語る導入のポイントとは～

日時：2021年1月10日(日) 13:00-15:00

会場：ZOOM

講師：飯野勝則氏(佛教大学図書館 専門員)

内容：Alma導入の経過や導入後の状況について伺った。

参加者数：43人

備考：京都・大阪・兵庫地域グループ共催

名称：大学図書館研究会京都地域グループDXセミナー「アフターコロナ時代の出版と図書館」

日時：2021年2月13日(土)～2021年2月22日(月)

事前コンテンツ公開と質問受付

2021年2月23日(火・祝日) 10時00分～11時30分

講師によるライブセッション

会場：ZOOM

講師：湯浅俊彦氏(追手門学院大学 教授)

内容：事前に講演内容をネットで視聴していただき、質問を後日受け、その質問をもとにライブ配信の中で講師の先生と質疑を繰り広げました。

参加者数：27名

(2) グループ報

2020/2021 年度刊行分につきましては、計画的発行を目指し編集作業を行いました。一部、発行遅延が生じる号がありました。2020/2021 年度発行したグループ報の目次は、次のとおりです。

1) グループ報 No.337 (2020/08/15 発行)

- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 43 回京都地域グループ総会を開催しました
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 43 回京都地域グループ総会議案
- ・第 1 号議案
- ・第 2 号議案
- ・第 3 号議案
- ・議事メモ・補足事項
- ・会費納入のお願い

2) グループ報 No.338 (2020/10/15 発行)

- ・大図研京都ワンディセミナー 終了しました
- ・グループ委員 挨拶
- ・会費納入のお願い

3) グループ報 No.339 (2020/12/15 発行)

- ・大図研関西 3 地域グループ合同例会 終了しました
- ・大図研京都ワンディセミナー 「Go to レファレンス～ウィズコロナ時代におけるレファレンスの在り方を再定義してみませんか～」参加報告 こんな時だからこそ。磨こう、見直そうレファレンス (渡邊 さよ)
- ・本の紹介 第 10 回『中国のマンガ<連環画>の世界』(長坂 和茂)
- ・会費納入のお願い

4) グループ報 No.340 (2021/2/15 発行)

- ・大図研関西 3 地域グループ合同例会 終了しました
- ・小特集：大図研関西 3 地域グループ合同例会 「Alma 導入の苦労話を聞こう」－体験者が語る導入のポイントとは－」参加報告
- ・大図研 関西 3 地域グループ合同例会参加報告 (小村 愛美)
- ・大図研関西 3 地域グループ合同例会「Alma 導入の苦労話を聞こう」－体験者が語る導入のポイントとは－」参加報告 (今野 創祐)

5) グループ報 No.341 (2021/4/15 発行)

- ・大学図書館研究会京都地域グループ DX セミナー 終了しました
- ・大図研 京都地域グループ DX セミナー「アフターコロナ時代の出版と図書館」参加記 (坂本 雅)
- ・グループ報の電子送信および冊子体の廃止のアンケートについて
- ・会費納入のお願い

6) グループ報 No.342 (2021/6/15 発行)

- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 44 回京都地域グループ総会のご案内
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 44 回京都地域グループ総会議案
- ・会費納入のお願い

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

大学図書館研究会の名称変更に伴い、トップページなど名称変更に取り組みました。デザインの改修、古くなったページの更新などを行いました。メーリングリストは新入会員にあわせ、適宜追加作業を行いました。

さらに Twitter の活用を図り、772 アカウント (2021.7.30 現在) のフォロワーを得ています。ワンディセミナーや合同例会の告知を行うとともに、他の地域グループのツイート等も積極的にリツイートいたしました。

また、メールマガジンは、「大図研京都地域グループ News Letter」として、no.271 (2020 年 9 月 7 日) から no.286 (2021 年 8 月 1 日) を発行しました。グループ活動をお知らせするものとして、グループ委員会議事録、グループ企画案内を紹介する記事を配信しています。また、図書館関係のイベント案内を不定期で配信いたしました。

(4) 組織活動

51 名の地域グループ会員の皆様に支えていただき活動しました。2020/2021 年度は退会者が 4 名、また新規入会者は 1 名でした。ワンディセミナーは多くの非会員に対して大図研や京都地域の活動をアピールする場でもあり、会員獲得に努めましたが、引き続き次期に課題を残す結果となりました。

(5) 財務

活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上しました。オンラインによる開催のため、多くの参加者を得ながらも参加費をえられませんでした。会場費は圧縮されました。

(6) 広報とデザイン

ワンディセミナー等において、引き続きポスター・チラシ作成等の広報活動に努めました。Web サイトのデザインを変更しました。

2. 2021/2022 年度活動方針

(1) 研究交流活動

会員の発表の場としての研究交流活動の企画に積極的に取り組みます。

会員の知的交流の場であると共に非会員への広報でもあるという意味を再認識し、組織拡大への貢献も大きな柱といたします。

勉強会的な企画だけでなく、交流を軸とした企画も検討し、年 2 回程度は開催できるようにします。

ウィズコロナ (アフターコロナ) を考慮しながら、引き続き、Web 会議方式も取り入れながら開催していきたいと思えます。

(2) グループ報

定期発行を心掛けるとともに、引き続き広く寄稿を求め、今後も、会員の皆さまへの情報提供・会員間での情報共有を目標とし、内容の充実に努めます。

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

古くなったページやメタデータの更新を行います。メーリングリストは入会や退会、更新の処理を適宜行います。さらに広報活動の一環として Twitter アカウントの積極的活用を継続します。

また、メールマガジンについて、より読まれるような内容にする工夫を継続するとともに、配信のタイミングについて検討していきます。同時に、メーリングリスト"ゆりかもめ"についてもその目的である「会員相互の親睦と交流を盛んにすること」の達成を目指し、会員による自由な投稿を促進するよう検討を重ねます。

(4) 組織活動

2021/2022 年度より 1 名の新規入会者を迎え、会員数は 48 名となりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員同士が集合してのイベントの開催が難しくなっています。ワンディセミナー、各種イベント、グループ報、ホームページ、メールマガジン、SNS 等を通じ、会員相互の交流が図れるような活動に努めます。また、オンラインでのイベントは非会員でも参加の敷居が低くなっていることを鑑み、会員の獲得に努めます。

(5) 財務

活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上しますが、グループ報の電子的な発送やオンラインでの研究交流活動企画のため経費の圧縮が見込まれます。グループ会費の適切な金額について検討を行います。

(6) 広報とデザイン

ワンディセミナー等において、引き続き Web サイト・ポスター・チラシ作成等の広報活動に努めます。今後も特定の委員に業務が集中しないよう体制の見直しを検討し、さらに効果的な広報を目指します。

◇ 会費ご納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

2016/2017年度(2016年7月～2017年6月)より、大学図書館研究会会費は、すべての会員の皆さまに、直接大学図書館研究会事務局へご納入いただくこととなりました。

一括徴収方式に移行し、4年目となりますが、京都地域グループは年度継続の前に会費をご納入いただく前納があまり進んでいない状況でございます。ワンデイセミナーやグループ報は京都地域グループ費により開催・発行させていただいております。ご多忙のところ大変恐縮ですが、会費のご納入のほどよろしくお願いたします。

会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥2,000)/年度です。

【振込先】

郵便局 00190-2-79769 大学図書館問題研究会

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019

■預金種目 当座 ■店名 〇一九(ゼロイチキュー店) ■口座番号 0079769

ご不明な点は大学図書館研究会事務局(会費担当)(kaihi@daitoken.com)までご連絡ください。

※ 学生会員制度(試行)として、学生の方には特典をお渡ししております。

詳細は京都地域グループ Web サイトの「学生会員制度の試行について」をご覧ください。